クオータ+公的資金制度 一一韓国の事例からの示唆ーー

申琪榮(お茶の水女子大学)

韓国の国会議員選挙制度(並立制、4年任期)

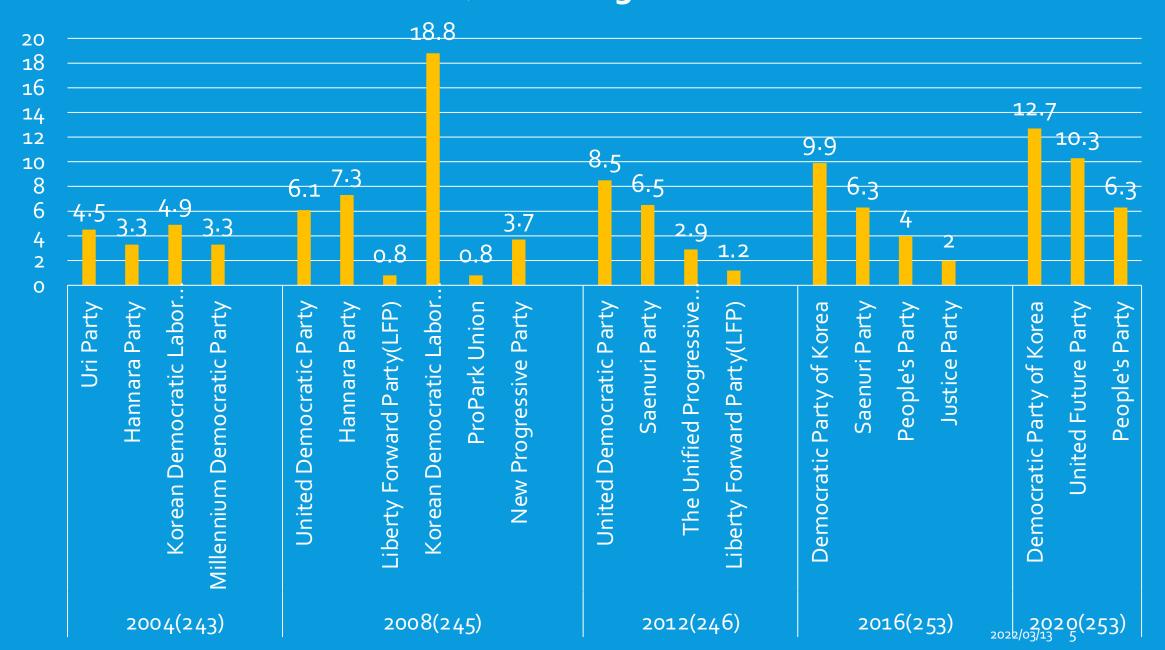
一院(300席)	小選挙区(253席)	全国比例区(47席)
候補者クオータ	小選挙区30%以上に 女性候補者を公認	比例名簿50%以上 に女性候補者を公認奇数は必ず女性
拘束力	努力義務女性候補者推薦補助金 支給(30,15,5%)	● 名簿不受理 2022/03/13 2

歴史的な変遷 (国会議員選挙)

2000	2004	2005	2010	2018
• 30% 比例区(努力義務)	 30%小選挙区クオータ 50%比例区クオータ 法的拘束力なし 女性候補者推薦補助金(選挙権者x100ウォン)女性候補者の選挙経費に使用) 女性政治発展基金(政党助成金の10%) 	・比例区名簿の奇数を女性に	 障がい者候補者推薦補助金(小選挙区5%以上、選挙権者x2のウォン) 	・比例区50% 未満、奇数 に男性を当 てる名簿は 不受理

100.0 女性議員の割合は19%、小選挙区に女性が少ない 80.0 60.0 59.6 40.0 23.9 20.0 15.2 **10.3** 0.0 1988 1996 2008 2016 1992 2000 2004 2012 2020 → Wome in SMD (%) Women Total (%) → Women in PR (%)

小選挙区の30%クオータは守られていない



2018年地方選挙	ともに民主党	自由国民党	正義党	その他(6党)
政党助成金	13,279,409,110	13,329,411,010	2,660,271,600	13,294,410,280
選挙補助金	13,538,338,360	13,764,340,470	2,710,327,380	12,550,496,160
女性候補者推薦補助金 (広域)	264,058,580	256,562,620	O	110,884,780
女性候補者推薦補助金 (基礎)	2,105,019,900	O	O	O
女性候補者推薦補助金(合計)	2,369,078,480	256,562,620	O	110,884,780
障がい者推薦補助金(合計)	482,531,940	64,773,230	O	0
合計(ウォン)	29,669,357,890	27,415,087,330	5,370,598,980	25,955,791,220

(100ウォン=9.47円)

女性政治発展基金

- ●政党が常に女性候補者を発掘、教育することを促すことが目的
- ●女性職員の人件費、教育・研修・政策開発、女性局の運営経費、女性候補者選挙費用、その他に分けて分析
 - 一民主党: 女性職員の人件費に40%、女性局の運営経費に5%
 - 一自由韓国党:女性職員の人件費に80.

教育・研修・政策開発、女性局の運営経費に5%未満

一正義党:女性職員の人件費に60%.

示唆点

- ●クオータ制度は改正を重ねることで充実、拡大した
- ●クオータ制度の法的拘束力は重要、特に小選挙区は政党の意思がなければ 守られない
- ●女性推薦補助金は国政選挙では政党の公認を促す効果はなかった(地方選挙においてはインセンティブとして働いている)
- ●女性候補者を増やすことを目的とするならば、インセンティブ式ではなく、 減額式が効果的
- ●女性政治発展基金は主に女性職員の人件費や女性局の運営経費につかされているので女性候補者発掘・研修は限定的だが、長期的な効果はありうる

参考文献

- Shin, Ki-young & Soo-hyun Kwon (2022) ""It's Money that Matters in the End: the I mpact of Gender-targeted Public Funding on Political Parties and Women Candidat es in South Korea." International Political Science Review (近刊).
- 申琪榮(2021)「『政治とお金』のジェンダー格差——女性を阻む政治資金 問題の解消へ」、『世界』no.946. August. p.182-188.
- Yoon, Jiso and Ki-young Shin (2015) "Mixed Effects of Legislative Quotas in South K orea," Politics & Gender, Vol. 11 No.1, March, pp. 186-195.